

図書室だより

12月号



平成 29 年 12 月 1 日
春日部市立東中学校

2017年のカレンダーも残すところあと、最後の1枚となり、あっというまに1月です。12月といえば、やっぱりクリスマスですね。図書室には、ツリーやリースなどがあり、クリスマスムードを盛り上げています。ツリーを見ながら本を読むのも素敵だと思います。ところで、クリスマスの次は楽しい冬休みですが、冬休みに入る前にも、夏休み前と同様蔵書点検を行います。皆さんが借りている本を決められた日までに図書室に返してください。「まだ読んでいる途中！」という人は、返す時にカウンターにいる図書委員にお声がけください。お取り置きをしておいて、冬休み明けにあなたがすぐ借りられるようにしたいと思います。ほとんどの人が期限内に本を返却できますが、何人か返却ができず、クラスまで数回足を運びました。今回は、**全員が期限内に返却するようにしましょう**。「借りた本が不明になった！見当たらない！」という人は早めにお知らせください。「まあ、いっかー。」とそのままにして年末の大掃除でバイバイしないでくださいね。また、年末の大掃除などで、学校の本が見つかったときは、お願いとして、貴方が借りた本でなくとも捨てたりせずに図書室に届けてくださいね。なぜなら、「**本は学校の大切な大切な財産**」だからです。宜しくお願いします。今、学校の図書室には、たくさん本があって、それをただで借りることができることはとても素晴らしいことだと思います。読書環境は時代により少しずつ変化していますが、読書が人生を豊かにしてくれるのは、今も昔も変わらないと思います。みんなが本を返さないことで、「借りたい本が借りられない」、それができなくなったとき、どんなにありがたいことか気づくのでしょうか。だから、いつも本が借りられるという感謝の気持ちを忘れずに過ごすことで、私たちはもっともっと心豊かな生活が送れるのかもしれないですね。今一度、あらためて本を読む幸せを感じてみませんか？来年も、今年以上の良い年でありますように。皆さんの幸せをお祈りします。



○今月のオススメ本の特集○



☆テーマ “クリスマス” ☆

25日はクリスマスです。日本では、プレゼントの交換や家族・恋人と一緒に過ごす日として定着しています。この日はイエス・キリストが生まれた日とされ、そのことをお祝いするキリスト教にとって、1年で最も大切な日です。クリスマス関連図書をオススメの本コーナーに置いてあります。この機会にクリスマスについて理解を深めてみましょう。

賢者のおくりもの 原作 オー・ヘンリー

ジムとデラという夫婦の物語。明日はとうとうクリスマス。妻のデラは「1ドル87セント」しか今、手元にない。このお金は、毎日必死でためたお金。しかし、愛するジム

のプレゼントが買えない。「そうだ！私の髪を切って売ろう。そして、夫、ジムの金時計の時計鎖を買おう。」髪は20ドルで売れました。そう、鎖は21ドルでした。デラは、87セントで買い物をして、クリスマスのごちそうをつくりました。そこへ、ジムが仕事から帰ってきました。ジムはデラにクリスマスプレゼントを渡しました。プレゼントの中身は何でしょうか？それは、読んでのお楽しみです。「賢者」の意味がわかります。

クリスマスのおかいもの

ツツク村の森の動物たちは、毎年クリスマスがやってくるのを楽しみにしています。もちろん、モミの木マンションのみんなもです。1Fはウサギのはなちゃん、2Fはキツネのこんくん、3Fはアヒルのがあおくん、4Fはリスのりすこちゃんの家です。クリスマスの夜、モミの木マンションのおうちが大きな大きなクリスマスツリーになりました。クリスマス・パーティーのごちそうも、わくわく・ドキドキします。プレゼントの交換は？サンタさん来るかなあ？森の動物たちがみんな眠ったころ、遠くの空から澄んだ鈴の音が聞こえてきました。シャンシャンシャン。シャンシャンシャン。

ミッケ！クリスマス みんなで遊べるかくれんぼ絵本

「もう、いいかい？」あっ、教会がある。クリスマスツリーもある。そして、サンタさんも、トナカイさんもいるぞ！本の中には、もっともっといろいろなものかくれているよ。絵本と君とでかくれんぼ。さあ、「もういいかい？」みつけたら、「ミッケ！」といってね。



トリックアート もうすぐクリスマス

待ちに待った、クリスマスに関連する、だまし絵や錯視画像を集めた絵本です。トナカイさんやサンタさん、お手伝いのこびとたちと一緒にだまし絵や目の錯覚を楽しんでください。どのページにも、靴下が一足ずつ隠れています。プレゼントの入っている靴下も忘れないで見つけてくださいね。あわせて、「トリックアート遊園地」もみてみましょう。

コーギビルのいちばん楽しい日



「コーギビルのいちばん楽しい日」は、作者の子ども時代の思い出と、大人になった作者が、子どもたちと毎年行ってきたクリスマスの習慣を中心にしたお話です。登場人物も、子どもたちの大好きな人形や飼っているペットたちがモデルです。皆さんが素敵なクリスマスを過ごせるようにクリスマスツリーに本物のローソクを使っています。「コーギビルの村まつり」「コーギビルの誘拐事件」とともに、楽しんでいただけたら幸いです。

夜間中学へようこそ

中学1年の優奈は、12月のある日突然、祖母の付き添いで「夜間中学」（中学校夜間学級の略称）に通うことになりました。みんなと触れ合う中で、いろいろな理由で学校に通えなかった人たちがいることを知ります。それは、かけがいのない日々の始まりでした。どうして勉強するのか・なぜ学校へいくか。夜間中学を舞台にした感動の物語です。多感な中学生の目を通して、見えたものとは……。